

特集

税制改正を踏まえた お客様の 資産形成サポート

ゴールから逆算した

iDeCo

&

こどもNISA

の提案

◀ NISA・iDeCoに関する税制改正のポイント

制度改正の背景や仕組みを理解し 疑問に寄り添い最適な選択を導く

須田幸宏

三楽るオフィス代表／CFP®／1級FP技能士

N ISAの恒久化・大幅
拡充により、若年層か
らシニア層まで幅広い世代に
投資を通じた資産形成が広が
ってきている。また、人生1
00年時代を見据えた老後資
金の確保という課題に対応す
るため、iDeCoについても
段階的な制度改正が続いて
きた。

組みづくりが一段と進む見通
しだ。

託のみを購入できる制度であ
る（8ページ・図表1）。

NISA制度 改正のポイント

① こどもNISAの創設

これまでNISAの口座開
設ができるのは18歳以上とさ
れていたが、0歳〜17歳を対
象とする通称「こどもNISA
A」が創設される。年間投資
枠は60万円、非課税保有有限
額は600万円と設定され、
つみたて投資枠対象の投資信

ジュニアNISAから 使い勝手が向上

狙いは、子どものうちから
長期的かつ安定した資産形成
を促すことだ。時間を味方に
してコツコツと投資を続ける
ことで、大学進学など将来の
大きな出費に備えやすくな
る。家計の負担を急に増やす
ことなく、早い段階から将来
の選択肢を広げるための資金
づくりを行うために活用でき
るだろう。

② つみたて投資枠の対象商品 の拡充

12歳以降は、資金を子ども
のために使う場合、子どもが
払出しに同意すれば親権者等
による払出しが可能となる。
これにより、まさに教育費準
備と資産形成が両立しやすい
仕組みとなっている。
18歳到達時には成人向けの
NISA（つみたて投資枠）
へ自動移行し、非課税保有限
度額1800万円の枠内で統
合される。その結果、未成年
期から成人期まで一貫した長
期投資が可能となる。

そうした流れを受け、NISA・iDeCo双方の利用

をさらに後押しするための新
たな制度改正が実施される予
定である。長期・安定的な資
産形成を社会全体で支える仕

は、長期・安定的な資産形成